

～富士のすそのから被災地へ 心ひとつに～

東日本大震災支援・連帯ニュース

2011/5/1 震災52目 静岡民医連



支援隊からの現地レポート報告



宮城野の里

栗田茂子さん（静岡田町診療所・看護師）より

<4/29（金）1日目> G.Wの影響ですごい渋滞でしたが、何とか到着しました。

ミーティングを終えて今日は終わりになりそうです。明日から頑張りたいと思います！

<4/30（土）2日目> おはようございます。今日は宮城野、岡田避難所に泊まり込みの支援になります。岡田小学校避難所の救護室での活動でした。宮城野もかなり津波の被害が酷くまだ200人程の人が避難されています。医師会の先生が診療したり適宜症状のある人に処置したり薬を渡したりしました。医療的には大分落ち着いていてこれからはメンタルでのケアが必要だと感じますあと1日ですが頑張りたいと思います🙏

<5/1（日）3日目> お疲れ様です。今、岡田小学校避難所から宮城野の里という老人ホームに着きました。

今晚はここに泊まって明日バスで帰ります🙏

終わってみると短期間では被災者の方と信頼関係も築けず、もっと長く滞在して関わっていくといいと思いました。また詳しくは連休明けに報告したいと思います。今日はやっとお風呂に入れるので嬉しいです❤️❤️

小見山暁さん（外来医事課）より

<4/30 土 4日目> 本日は引き続き多賀城文化センターに避難所訪問を行いました。事務局の仕事に急遽任命され遅くまでの作業になりました。グループ内の移動の手配、避難所のまとめや総括などを行いました。また患者さんの情報収集、医者、看護師、事務、その他の職種の配置等を決めたり様々な事を行いました。明日も事務局の仕事になったので引き続き診察、回診が上手く行くように頑張ってください。

<5/1 日 5日目> 本日も引き続き多賀城文化センターに避難所訪問でした。今日も事務局の仕事でしたが、昨日、一日体験をしたので全体を理解できていたので指示などもスムーズにできました。しかしメンバーの入れ替えが多く医者、看護師への申し送り等が多かったので大変でした。文化センターより支援物資の要請があったので届けられていた物資から探したりする作業をしました。明日が支援最終日になるので頑張ってください。



多賀城文化センター

池谷建二さん（すみれの郷）より

<4/30 土 4日目> お疲れ様です。今日は宮城野の里の二階のマルフクという避難所での支援でした。ここは、介護保険は使えないが、一般の避難所では、生活が難しい方がおられる所です。みなさんとても生き生きとして、夫婦で避難されてる方もいて、老老介護的な場面も見られました。夫婦の絆など、心にしみるものがあります。津波によって、命の大切さ、本当に大事な人はだれなのか知ったようです。僕もそう思いました。互いに生きてるからこれからも一緒に生きようとても生き生きしてました。

夜は小学校に、避難されてる方に元気付けるためにレクレーションをしに行きました。イカ踊りをみんなでやりに行きました。ふだんも体操をしている様でしたが、若い人はあまり参加してくれないようで、僕たち、若い？人が15人ぐらいではでやると、いつも若い人はやらない人もやってくれて、また明日も来てほしいと言ってくれました。



北海道のちゃんちゃん焼き？

<5/1 日 5日目> お疲れ様です。本日もマルフクでの支援を行いました。今日は日曜日ということもあり、デイサービスが無いので、被災者のみなさんがお風呂に入れる日でした。なので、介護度がある被災者の入浴介助を行いました。久しぶりにはいるお風呂はとても気持ち良さそうでした。また、中には夫婦で介助しながら入る夫妻もいらっしゃいました。また、今日は日曜日だからでしょうか、娘やお孫さんが面会に来られる事も多々あり、被災者の、皆さんは涙を流して腰がくだけるように再開を喜んでらっしゃる方もいました。自分も込み上げるものがありました。また、今日は新しい住まいが見つかってマルフクを出て行く被災者も居ました。気持ちを聞くと、不安もたくさんあるそうで、なかでも、昼間は一人になってしまうから、それが淋しいと話していました。それは、全国から集まった支援者たちが温かく接し、他の被災者とも、仲良くなれたからだとおもい。とても嬉しく思いました。

今日は北海道から来た支援者がちゃんちゃん焼きを振舞ってくれました。皆さんは食べたことがないようでしたが、とても美味しそうに召し上がっていました。静岡からも、何か名物になる様なものがあればとおもいました。お疲れ様でした。



宮城野の里併設避難所「マルフク」